

2015年10月9日

愛知製鋼株式会社

カブトムシのすむ森づくり ～植樹した苗木を親子で観察～

愛知製鋼株式会社（本社：愛知県東海市、社長：藤岡高広）は、CSR活動の一環として生物多様性保護のため2012年から知多半島生態系ネットワーク協議会事業「命をつなぐPROJECT」に参加し、社有地の中新田地区に「カブトムシのすむ森づくり」事業を進めてきた。

「カブトムシのすむ森づくり」は生物が、自然のサイクルの中で暮らし続ける環境を創出することを目指し、社員のドングリ拾い、苗木育成から始まり、2013年11月には、社員、家族、地域社会の方々と共に植樹祭を開催し約1200本の苗木を植樹し、翌年11月には社員、家族、地域の方々と苗木の施肥、除草の手入れを行ってきました。

この2年間でしっかりと根付き、育った苗木が更に大きく成長しカブトムシの群れる大きな森へとなることを願い、苗木の観察イベントを下記のとおり開催する。

本件についてのお問合せは、愛知製鋼株式会社 総務部 広報室 原田、加藤(052-603-9216)まで、ご連絡をお願いいたします。

【カブトムシのすむ森づくり】

開催場所： 愛知製鋼株式会社 本社知多工場 隣接緑地（東海市東海町）

開催日時： 2015年10月17日（土） 9:00～13:00



昨年の観察会風景

以上